

5年次・3年次の理科で「TO学習」を実施しました。

2月27日(月)、私の考案した「TO学習」(読みは「ティーオー学習」)が総合実践室で行われました。「TO」とは、「Teaching Others (他の人に教える)」の頭文字です。さらに、「to learning (深い学びへ)」というテーマも込めています。

1月19日(木)に実施された、4年次生(高1)が2年次生(中2)に数学を教えるというミッションは、ドリーム第161号で紹介し、全国から反響をいただいています。今回は、5年次生(高2)が3年次生(中3)に理科(物理分野)を教えるというミッションでした。粉川先生作成の授業計画書には以下のように書いてありました。

1. 担当学級 3C(40名), 5C・D物理選択者(19名) ※いずれも粉川先生の担当クラス
2. 単元 力学(運動, 仕事, エネルギー)
3. 授業内容 2月定期考査の復習(解き直し)
4. 本授業のねらい
 - ① **学力向上の視点**
 - <3年次生>・問題の分からない箇所を自分で把握する。
 - ・自分の分からない箇所を他の生徒に図や言葉で伝える。
 - ・他の生徒から説明をもとに、自分で再考し、解決を図る。
 - <5年次生>・事前に問題を配布することで、力学分野を復習を図る。
 - ・3年次生への説明を通して、既存の内容の精緻化を図る。
 - ② **アクティブ・ラーニング**
 - <3年次生>・自ら主体的に取り組む。
 - <5年次生>・3年次生の学習活動を支援する。
 - ・3年次生からの質問に的確に応えられるように、内容を把握する。

物理選択者の人数の関係で、基本的に5年次生1名が3年次生2名を教える形でした。一生懸命、教えている5年次生の姿に感動しました。3年次生も真剣に学んでいました。1月19日の初の「TO学習」同様、今回も多くの先生方が見学に見えていました(^_^)。



